

各位

一般社団法人 兵庫県建築士事務所協会
会 長 柏 本 保
広報渉外部長 鈴木 祐一

シンポジウム「設計事務所のアタラシカタチ 2020」のお知らせ

平素は当協会の活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたびのシンポジウムでは、建築家・根津耕一郎氏をコーディネーターに迎え、多様な年齢構成かつ異なった事務所形態、活動内容をもって兵庫県下で活躍されている建築家の方々をパネリストとしてお招きし、講演ならびにパネルディスカッションを開催することとなりました。

現代社会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴った価値観の変化をはじめとして、多様な要因を背景にした様々な社会環境システムの変化に直面しています。この混沌とした状況のなかで、経営環境が著しく変化しつつある「設計事務所のアタラシカタチ」について改めて考えることで、建築に携わる様々な人々が今後どのような「カタチ」を目指していくべきか、皆さまと考えてみたいと思いますので、多数の方にご参加頂ければ幸いです。

記

開催日時 令和2年11月28日(土) 14:00～16:40 (開場 13:30)
会 場 神戸市立こうべまちづくり会館 2F ホール
※詳細につきましてはチラシをご参照下さい。
入 場 料 1,000 円 (学生証の提示で無料)

申 込 書

※シンポジウムへの参加を申し込みます。

氏名 _____ 連絡先 _____

所属 _____

※複数名の場合はその旨を余白に記入し、代表者のお名前をご記入下さい。

※送付先 → メール info@hyogo-aaf.org FAX078-371-7913

設計事務所のアタラシカタチ 2020

現代社会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴った価値観の変化をはじめとして、多様な要因を背景にした様々な社会環境システムの変化に直面しています。この混沌とした状況のなかで、建築設計事務所の経営環境は著しく変化しています。

今回のシンポジウムでは、建築家・根津耕一郎氏をコーディネーターに迎え、多様な年齢構成かつ異なった事務所形態、活動内容をもって兵庫県下で活躍されている建築家の方々をパネリストとしてお招きし、講演ならびにパネルディスカッションを行います。混沌のさなかで「設計事務所のアタラシカタチ」について改めて考えることで、建築に携わる様々な人々が今後どのような「カタチ」を目指していくべきか、皆さまと考えてみたいと思います。多くのご参加お待ちしております。



コーディネーター

根津 耕一郎 建築家、一級建築士

1933年 神戸生まれ。1956年神戸大学工学部建築学科を卒業後、日建設計、東畑建築事務所を経て、1962年独立。主な作品に「日本万国博覧会協会本部ビル」「ホテル奥道後」「沖縄海洋博エキスポランド」等がある。日本建築学会賞を受賞し、海外、国内の多数の建築物の設計に関わり、現在に至る。



パネリスト

山本 康一郎 株式会社 山本設計 代表取締役、一級建築士

1953年神戸生まれ、1976年金沢工業大学工学部建築学科を卒業。地域の組織設計事務所として、多くの小学校や病院等の公共建築の設計に関わり、現在に至る。また、平成24年～28年の間で、(一社)兵庫県建築士事務所協会の代表理事 会長を務めるなど、各業界団体の代表者も務めており、現在は神戸市測量設計協会 会長、(一社)兵庫県建築会 代表理事 会長 を務める。



パネリスト

前田 由利 一級建築士事務所 YURI DESIGN 代表、一級建築士

関西大学工学部建築学科卒業後、デベロッパーにて集合住宅の企画・設計に携わった後、1998年「人と環境に負荷の少ない家づくり」を目指して自宅の「御影草屋根の家」をつくる。一級建築士事務所 YURI DESIGN 設立。石油化学製品を極力排除し、健康に配慮しつつ環境負荷も軽減することを目指す。特に「草屋根」として木造の傾斜屋根緑化の完成件数は60件になり、2010年10月に屋根緑化をひろめるための「草屋根の会」を立ち上げて、技術者の養成やユーザーの情報交換の場としての社会活動をスタートした。



パネリスト

今津 修平 株式会社 MuFF、COCCA、一級建築士

大学を卒業後、名古屋の組織設計事務所、東京のアトリエ事務所の勤務を経て27歳で有限会社 MuFF を設立。2011年に株式会社 MuFF に改組し、2014年には東京から神戸へ移住。神戸市内では道の駅の中核施設「FARM CIRCUS」など、ビルディングタイプを問わず様々な建築設計に携わる。2017年から他業種の仲間と「COCCA」という複合体の組成を実験的にはじめ、社会のカッコを開いてつなげることをコンセプトに様々な活動をしている。現在は、神戸芸術工科大学と不動産投資事業者との協働プロジェクトとして、須磨区や兵庫区のエリアリノベーションなどに参画し、人と建物が共に成長し続けられるような「場」をつくるための取り組みをしている。



パネリスト

北川 浩明 株式会社 文化工学研究所、COCCA、一級建築士

2008年 京都工芸繊維大学大学院修士課程建築設計学専攻(岸和郎研究室)修了後、渡英。2008年より2013年まで Alhadeff Architects(ミラノ、イタリア)勤務。イタリア、イギリス、スイスでのプロジェクトを担当。2009年より2010年まで設計事務所勤務と並行してミラノ工科大学大学院修士課程建築エンジニアリング専攻にて構造工学、環境工学を学ぶ。2013年より KUAV(被覆設計)主宰。2017年 COCCA 始動。2018年(株)文化工学研究所を設立。

2020年11月28日(土)

14:00～16:40 (開場 13:30)

会場：神戸まちづくり会館 2F ホール
(神戸市中央区元町通 4-2-14)

定員：70名(要申込・先着順)

参加費：1000円(学生証提示で無料)

お申込み・お問合せ

兵庫県建築士事務所協会事務局

TEL 078-361-4523 FAX 078-371-7913

Mail info@hyogo-aaf.org

必要事項(お名前・電話番号・所属)と

「シンポジウム申込」と記入のうえお申込みください



主催：一般社団法人 兵庫県建築士事務所協会

後援：公益社団法人 兵庫県建築士会

兵庫県建築設計監理協会

日本建築家協会 近畿支部 兵庫地域会

プログラム

14:00 あいさつ

14:10-15:20 各パネリスト講演

「設計事務所の現在・過去・未来」

15:20-15:30 休憩

15:30-16:40 パネルディスカッション

コーディネーター 根津耕一郎

パネリスト 今津修平

北川浩明

前田由利

山本康一郎